

第24回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会

未来の全日本チャンピオン戦 中学生 男子組手試合 試験的实施

2013年8月9日

日本テコンドー協会

宗師範 河 明生

日本テコンドー協会（以下、JTA）の加盟クラブには、優秀な蹴美の才能が育ち始めている。
未来の全日本フルコンタクト・テコンドー・チャンピオンに成長するであろう中学生蹴士である。
才能は、好敵手と競い、もまれてこそ開花するものである。

JTAは、未来の全日本フルコンタクト・テコンドー・チャンピオンを育てるため、
中学生男子の選ばれし蹴士達が、格闘技の殿堂・後樂園ホールで輝ける機会を提供すべきである。
そこで第24回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会において中学生男子組手試合を試験的に実施し、
JTA初代中学生組手チャンピオンを決定する。

ただし、本種目の実施は固定化しない。優秀な選手が存在する限りにおいて実施する。
現時点で選抜された中学生蹴士は下記の通りである。ワンマッチでも実施する。

言 己

ランキング	選抜者名	段位	所属	(指導者)	学年
第1位	野原颯太	初段	長崎佐世保テコンドークラブ	(廣川禎教)	中学2年生
第2位	行谷駿輔	初段	湘南平塚テコンドークラブ	(尾崎圭司)	中学1年生
第3位	伊藤岳陽	初段	名古屋天白テコンドークラブ	(稲熊 肇)	中学2年生
第4位	井藤大貴	初段	福岡イオン筑紫野テコンドークラブ	(守田典男)	中学1年生

以上4名

組手ルールは、JTAライト・テコンドー・ルール中学生部特別ルールとする。
無差別級のため、突きは全面的に禁止し、
フルコン系空手の得意技である回し蹴りは上段・中段ともに禁止する。
ヘッドギアを着用しなければならない（近日中に公開）。

しかし、組手は事故のリスクがある。
選抜されたからといって必ずしも出場する義務はなく、不参加によって生じる不利益は皆無である。
本人が出場する意思が固く、保護者も許可する限りにおいて本種目は成立する。